



- 2 エッセイ／“おかね”を語る
貴族とドルと円 芸人 山田ルイ53世

- 4 インタビュー／扉を開く
辻口博啓 パティシエ
人を感動させるスイーツの創造者



- 9 地域の底力——兵庫県養父市
先例にとらわれない官民それぞれの挑戦が地域を切り拓く
兵庫県養父市



- 16 対談／守・破・創
津田篤太郎 医学博士・新潟医療福祉大学教授
氷見野良三 日本銀行副総裁
西洋と東洋、最先端と伝統 異なる視点で難題解決に挑む

- 20 FOCUS → BOJ 47 日本銀行金融機構局
「地域金融サポートユニット」が始動
～地域金融機関の経営基盤強化に向けた取り組みを幅広く後押しする

日本銀行のレポートから

- 24 「経済・物価情勢の展望」(展望レポート) —2024年7月—
26 「地域経済報告」(さくらレポート) —2024年7月—



- 27 トピックス
新しい日本銀行券の発行を開始しました ほか
35 AIR MAIL from New York
ニューヨークの地盤と中央銀行

表紙のことは

日本銀行函館支店は、明治二十六年（一八九三）、函館港に臨む末広町に出張所として開設されました。現存する支店としては大阪支店に次いで二番目に古い歴史を持ちます。

当時、北海道では旧三井銀行が担っていた国庫金業務から撤退することとなり、日本銀行が道内主要都市に一斉に拠点（函館、札幌、根室）に出張所、小樽など二六カ所に派出所を設置しました。

その中でも、国際貿易や北洋漁業の拠点として北日本最大の都市であった函館の位置付けは高く、開設二年後に出張所から北海道支店に昇格し、大阪支店、西部支店に続く三番目の支店となりました。

表紙の初代店舗は、旧三井銀行支店から引き継いで利用した建物です。

明治三十九年（一九〇六）、小樽出張所の支店昇格と入れ替わる形で北海道支店から再び函館出張所に戻った後、翌年の大火で焼失しました。

現在の四代目店舗は、昭和六十三年（一九八八）に東雲町に新築移転されたものです。

昨年、開設一三〇周年を迎えた函館支店は、これからも地域の皆さまとともに歩んでいきます。

裏表紙の写真は、金融研究所アーカイブ所蔵のもので、



表紙・画 北村公司